

プロフェッショナル人材戦略拠点事業紹介

京都府プロフェッショナル人材戦略拠点は、京都府内中小企業等の「攻めの経営」への意欲を喚起し、プロフェッショナル人材活用による成長戦略実現を促す目的で、京都産業21内に設置しています。新商品・サービスの開発、新たな販路開拓、海外展開、生産性の向上等に挑み、経営革新を遂行するプロフェッショナル人材や、副業・兼業人材を、金融機関、民間人材ビジネス事業者等と連携しながら、中小企業等とのマッチングを支援しています。

活用事例その① 株式会社Atomis



代表取締役CEO
浅利 大介 氏

「自ら考え、行動できる即戦力人材」を採用

当社は、京都大学高等研究院の北川進教授が発見した多孔性配位高分子(PCP/MOF)技術の産業応用を目指し、京都大学発の素材系ベンチャーとして、2015(平成27)年に設立しました。PCPIは、無数に空いた穴と三次元構造をナノレベルで制御することにより、さまざまな機能を持たせることが可能になります。この新素材を吸着材として用いたガスボンベ供給サービス「CubiTan(キュービタン)」を自社開発し、実用化を目指しています。

起業間もない2017(平成29)年から2018(平成30)年にかけては、「ヒト・モノ・カネ」のすべてが不足していました。中でも最優先の経営課題は、「主体的に考えて行動できる、有機合成化学の研究開発に長けた人材の採用」でした。お客様からの素材開発依頼に応える受託事業では、必要な論文を探し、どうすれば開発・納品できるかを考え、実験・合成も自ら行う必要があります。また受託案件だけでなく、自社事業の研究開発も重要な業務です。これまでにない吸着材を試行錯誤しながら研究開

発していく必要があります。こうした高度な業務を遂行できる人材を見つけるのは簡単ではありません。本事業を通じてオール京都の伴走型支援を受けたことで、2019(平成31)年1月、探し求めていた人材を採用することができました。

新たな人材を採用したことで、年間数十件に及ぶ素材開発の依頼に今まで以上に応えられるようになりました。またこれまで資材合成用試薬の調達を外部に委託してきましたが、その内製化も可能になりました。対応力の強化と経費の削減が経営の安定化につながっています。今後もPCPを活用し、多様な領域に新たな価値を提供していきます。



試薬の内製化が可能になった

Company Data

- 代表取締役CEO / 浅利 大介
- 所在地 / 京都市上京区御串通清和院口上る東側梶井町448-5
クリエイション・コア京都御串
- 電話 / 075-746-7845
- 事業内容 / 多孔性配位高分子(PCP/MOF)技術を用いた
製品・ソリューションの提供